

東京工業高等専門学校		開講年度	平成30年度（2018年度）		授業科目	宇宙物理学入門（教養ゼミⅡ）	
科目基礎情報							
科目番号	0184		科目区分		一般 / 選択		
授業形態	授業		単位の種別と単位数		履修単位: 1		
開設学科	物質工学科		対象学年		5		
開設期	前期		週時間数		2		
教科書/教材	必要に応じてプリントを配る。						
担当教員	前段 眞治						
到達目標							
【目的】 宇宙物理学を学び、宇宙像が歴史とともにどのように変遷してきたか理解する。 【到達目標】 1. 太陽系の構造や地動説を理解できる。 2. 現代の宇宙像を理解できる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		到達レベルの目安(可)		未到達レベルの目安
評価項目1	太陽系の構造や地動説を説明できる。		太陽系の構造や地動説を理解できる。		太陽系の構造や地動説の基本を理解できる。		太陽系の構造や地動説を理解できない。
評価項目2	現代の宇宙像を説明できる。		現代の宇宙像を理解できる。		現代の宇宙像の基本を理解できる。		現代の宇宙像を理解できない。
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	前半では、天動説の歴史や地動説について学習する。後半は、ハッブルの法則から明らかとなった宇宙膨張について解説し、最後に未解決の問題にも言及する。						
授業の進め方・方法	はじめに、天動説の歴史や地動説について学習する。学生から宇宙に関する疑問、質問を自由に出してもらい、それらを念頭において現代の宇宙像の話に入っていきたい。						
注意点	授業の復習については自学自習により取り組み学修することが必要である。特に授業のあった日は、必ず各自で復習をすること。						
授業計画							
		週	授業内容			週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	宇宙物理学の基本概念について解説する。			宇宙物理学の基本概念について理解できる。	
		2週	重力波観測のニュースを紹介、解説する。			重力波観測のニュースを理解できる。	
		3週	惑星を説明する。			惑星を理解できる。	
		4週	天動説の歴史を説明する。			天動説の歴史を理解できる。	
		5週	地動説を説明する。			地動説を理解できる。	
		6週	太陽系を説明する。			太陽系を理解できる。	
		7週	学生によるプレゼンテーションおよび自由討論。			プレゼンテーションを実行できる。	
		8週	銀河宇宙像の確立を説明する。			銀河宇宙像の確立を理解できる。	
	2ndQ	9週	ハッブルの法則を説明する。			ハッブルの法則を理解できる。	
		10週	宇宙膨張を説明する。			宇宙膨張を理解できる。	
		11週	火の玉宇宙を解説する。			火の玉宇宙を理解できる。	
		12週	宇宙背景放射を説明する。			宇宙背景放射を理解できる。	
		13週	暗黒物質、暗黒エネルギーの話題を紹介する。			暗黒物質、暗黒エネルギーの話題を理解できる。	
		14週	インフレーション理論の話題を紹介する。			インフレーション理論の話題を理解できる。	
		15週	期末試験の解説と、授業の振り返りを行う。			半期の授業の目的や授業内容を概観できる。	
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	75	0	0	0	0	25	100
基礎的能力	75	0	0	0	0	25	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0